



学園広報誌

# WAVE

No.45

2025年2月27日発行



学校法人 大阪成蹊学園

大阪成蹊大学  
びわこ成蹊スポーツ大学  
大阪成蹊短期大学  
大阪成蹊女子高等学校  
こみち幼稚園

## 大阪成蹊大学



# 進化する 大阪成蹊大学

大阪成蹊大学は、開学以来、社会の変化を見据えたさまざまな教学改革を重ね、常に進化を続けてきました。2022年に国際観光学部を開設し2023年にデータサイエンス学部、看護学部を開設。

2026年度には経営学部、国際観光学部、芸術学部において学びを広げるためのコースの新設や再編を行い、さらに2027年度には新学部の開設も構想中です。

本誌では2026年度の大阪成蹊大学の進化についてご紹介します。

### ■経営学部(2026年度)■

経営学部 経営学科では、2026年度に2つのコースを新設し、5コース体制とします。新設するのは「国際ビジネスコース」と「会計コース」。グローバル化と複雑化が同時に進む社会のなかで、国際ビジネスコースでは、国際的な視点で経営学を学び、国内外で活躍できるビジネスパーソンを育てます。

会計コースでは、経営学、企業財務、会計といった専門的な知識を身につけ、国家資格予備校との連携により税理士や中小企業診断士などの資格取得をめざし、お金の流れから社会を捉えられる人材を育成します。



現コース	2026年度新コース(予定)
経営コース	国際ビジネスコース <b>New</b>
公共政策コース	会計コース <b>New</b>
食ビジネスコース	経営コース
スポーツマネジメント学科	公共政策コース
	食ビジネスコース
	スポーツマネジメント学科

### ■国際観光学部(2026年度)■

観光産業はコロナ禍後、モバイルチェックインなどの非接触サービスの台頭やデジタル技術を活用した利便性向上施策など大きな変化がおこっています。

また政府は、観光立国推進基本計画を見直し、【1】自然、文化の保全と観光の両立等、持続可能な観光地域づくり、【2】消費額増額と地方誘客も伴ったインバウンド回復、【3】全国旅行支援や第2のふるさとづくりなど国内交流拡大の3つの戦略を掲げました。これら社会の変化や政府の方向性を踏まえ、新しい時代に対応した観光を、多面的かつ効果的に学ぶ目的でコースを再編します。



現コース	2026年度新コース(予定)
国際観光コース	観光ビジネスコース <b>New</b>
観光まちづくりコース	観光ホスピタリティコース <b>New</b>
国際ビジネスコース	観光文化デザインコース <b>New</b>

### ■芸術学部(2026年度)■

関連業界での最新動向や、求められるスキルに対応するカリキュラムの改定、コース名称の変更を行います。

#### ■建築・インテリアデザインコース **New**

現:インテリア・プロダクトデザインコース

在学生および受験生の建築への関心の高まりに応えるため、現在の二級建築士・木造建築士受験資格に加え、一級建築士受験資格に対応するカリキュラムへ改定するとともにコース名称を変更します。新コースでは、資格取得をめざす文理融合型の教育を提供し、学びの対象を「建築・空間・内装デザイン」および「家具などのインテリアアイテムのデザイン」とすることで、建築・空間デザイン業界で活躍できる人材を育成します。

#### ■映像・ボイスクリエイターコース **New**

現:バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース

YouTubeやInstagramなどインターネット上での映像表現やイベントでの映像上映等、その制作や運用のスキルをもつ人材への需要が高まっています。バーチャルメディアという特殊な視聴覚を指す領域だけではなく、「テレビやスマートフォン等で扱う平面的映像」、「屋外広告・プロジェクションマッピング等の実態的映像」などの学びの領域を表現するためにコース名称を変更。映像の具体的な活用を念頭に置いたカリキュラムとし、先進的なメディアで世界を相手に活躍できる最先端のクリエイターを育成します。

注)本記事は2025年2月時点の情報であり、変更となる場合があります

## 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

### グローバルセンターを新設(2025年4月)



大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学では、現在の英語教育センターおよび国際交流センターが担う業務を統合し、業務内容の充実・向上及び効率化を図り、国際交流の拡大と英語教育の一層の充実を目的として、新たにグローバルセンターを設置します。具体的には、下記事項の取り組みをします。



#### 国際交流の拡大

- 1 戦略的な海外有力大学との協定締結の推進及び学園グローバルネットワークの強化
- 2 海外留学・語学研修プログラムの充実
- 3 既存の海外協定大学との連携強化、交換留学生の受け入れ強化による国際交流の高度化
- 4 優秀な外国人留学生(学部入学者)の受け入れに向けた募集活動の強化

#### 英語教育の充実

- 1 TOEICを含む英語力の向上にかかわる支援強化
- 2 TOEIC受験生の増加、対策講座の強化によるスコア向上
- 3 学内外を対象とした英語プレゼンテーション大会の充実
- 4 各種イベントへの学生参加を促進



- 2面 学修成果の発表(第8回大阪成蹊カップなど)
- 3面 企業、自治体等との学外連携
- 4面 就職活動
- 5面 就職決定者の声

- 6面 卒業生インタビュー
- 7面 クラブ活動 NEWS / こみち幼稚園 ほか
- 8面 第14回全国アート&デザインコンペティション ほか

## 学修成果の発表

## 大阪成蹊大学

## 第8回大阪成蹊カップ プレゼンテーション大会を開催

9月20日に、第8回大阪成蹊カップ プレゼンテーション大会が開かれ、その表彰式が11月13日に行われました。本学では、学外連携科目において企業や外部団体の課題をチームで解決する授業を行っており、事前の予選で優秀な成績を収めた11のチームが当日発表にのぞきました。大阪成蹊カップ プレゼンテーション大会は、キャリア教育における学修成果を発揮する機会のある場として毎年開催しています。



予選参加人数 850名

経営学部、国際観光学部、教育学部、芸術学部、データサイエンス学部の2年生全員

## 審査基準

1. 企画内容、①妥当性、②実現性、③新規性
2. 発表の態度・声・わかり易さ
3. 資料の出来、完成度、見易さ
4. 全体の印象：テーマにおけるミッション達成度

## 審査結果

【最優秀賞】教育学部（提携先：こみち幼稚園）  
発表テーマ／預かり保育での楽しい異年齢保育を提案「ごっこ遊び夢フェスタ」

## 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

## 第7回「英語プレゼンテーション/暗唱大会 English Presentation / Recitation Contest」を開催

12月26日に、大阪成蹊大学と大阪成蹊短期大学合同の「第7回 英語プレゼンテーション/暗唱大会 English Presentation/ Recitation Contest」が開催されました。

この大会は、日ごろの英語学習の成果発表の場を設けることで、学生の学習意欲を高めるとともに、英語運用能力やプレゼンテーション力を向上させることを目的としています。

「暗唱部門(短期大学)」と「プレゼンテーション部門(教育学部 英語教育コース)」、「プレゼンテーション部門(国際観光学部)」の3つで構成され、暗唱部門では、有名なスピーチを暗唱することを通じて、スピーチ構成の理解や発音の向上、効果的な発声方法が、プレゼンテーション部門では、これまでの英語学習で培った英語運用能力を活かすことが求められました。



## 【暗唱部門(短期大学)】

第1位 三村 佳澄さん

## 【プレゼンテーション部門(教育学部 英語教育コース)】

第1位 佐藤 日和さん

## 【プレゼンテーション部門(国際観光学部)】

第1位 山本 凜さん  
楊 瀟琳さん  
ショウ イン ヨウさん

審査結果



## 「第8回 めざせMaestro! 大阪成蹊学園ピアノコンペティション」を開催

12月19日に、学修成果を発揮する機会として「第8回めざせMaestro! 大阪成蹊学園ピアノコンペティション」が開催されました。

小学校や保育園などの教育現場で非常に重要な役割を占める音楽教育。「大阪成蹊学園ピアノコンペティション」は、大勢の前で演奏する経験を通して現場での実践力に繋げると同時に、高いモチベーションを持って練習に取り組むことを目的として毎年実施しています。

大阪成蹊大学 教育学部 教育学科 初等教育専攻と、大阪成蹊短期大学 幼児教育学科から合わせて320名(大学174名、短期大学146名)の学生が予選から参加、予選を通過した49名が当日演奏を披露しました。



## 審査結果

## 【ピアノ Maestro部門】

最優秀総長賞 北野 愛さん(大阪成蹊大学3年生)

## 【弾き歌い Maestro部門】

第1位 池尻 妃花さん(大阪成蹊大学4年生)

## 【ソナタ部門】

第1位 末永 樹里さん(大阪成蹊大学2年生)

## 【ソナチネ部門】

第1位 矢野 楽潤さん(大阪成蹊大学1年生)

## 【ブルクミュラー部門】

第1位 渡部 歩純さん(大阪成蹊大学2年生)

## 【バイエル部門】

第1位 土肥 なずなさん(大阪成蹊短期大学1年生)

## 【弾き歌い Bravo部門】

第1位 窪田 萌花さん(大阪成蹊大学4年生)



## 学外連携

## 大阪成蹊大学

## ■ 芸術学部

## ダイドードリンコ株式会社と連携し、 企画・デザイン提案した自動販売機が実採用され、大学内に設置

芸術学部 造形芸術学科の学生40名が、2023年後期の「プロジェクト演習 2・4」の授業において、ダイドードリンコ株式会社からの課題に対して、デザイン力で人々の心と行動に変化を与える新たなスタンダードの提案に取り組み、2種類の自動販売機が実採用されました。

## 【取り組みのポイント】

- ダイドードリンコ株式会社と連携し、海洋プラスチック問題や資源再利用、ポイ捨て防止の啓発活動を実施する同社の取り組みを学び、これらの課題をデザイン力で解決する方法や、近未来の自動販売機に期待する役割を検討し、様々な角度から提案。
- 異物混入率低減に向けた新しいリサイクルボックスの企画・デザイン提案が実採用され、自動販売機と共に大学内3箇所に設置。
- これからの自動販売機に期待する社会的役割について取り組み、女性のためにセレクトされた飲料と、生理用品販売のコラボレーション自動販売機の提案が実現し、大学内2箇所に設置。



採用された自動販売機(学内で5台設置)

### 「リサイくるん」自動販売機(駅前キャンパス8F 食堂)

【担当グループ】芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース 4年 中野 亜美さん/山本 光憂さん、3年 日置 涼音さん/アニメーション・キャラクターデザインコース 3年 宮地 涼さん

【考案学生コメント】リサイクルボックスの認知度向上のために「リサイくるん」というペットボトルと缶が大好物のキャラクターを考案しました。世の中の人々に親しみを持っていただくことで、リサイクルボックスの異物混入率低減に少しでも貢献できればと思います。「リサイくるん」と共に、子どもたちにもリサイクルに対する意識を持って欲しいと思います。

### 「femtech※」自動販売機(南館食堂)

女性のためにセレクトされた飲料と、生理用品販売のコラボレーション自動販売機を実現。

【担当学生】芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース4年 山本 光憂さん

【考案学生コメント】女性のためにセレクトされた飲料群と共に、生理用品などを同時に購入することができるコラボレーション自動販売機の企画・提案を行いました。生理中に必要な温かい飲料や鉄分が多く含まれた飲料に加えて、急を要する際に生理用品も入手でき、女性特有の健康課題を身近な自動販売機でサポートすることができればと思っています。



※「femtech」フェムテックとは、FemaleとTechnologyをかけた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスなどを指します。(経済産業省/フェムテック等サポートサービス実証事業HPより引用)

## ■ 経営学部



## 大阪市、サラヤ株式会社、株式会社ジェイコムウエストと共同で なにわの伝統野菜に認証された「大阪黒菜※」のリーフパンを開発!

経営学部 経営学科 食ビジネスコースの学生が、大阪市、サラヤ株式会社、株式会社ジェイコムウエストとなにわの伝統野菜に認証された「大阪黒菜」を使用したオリジナルパンを共同開発しました。学生考案の商品は10月13日・14日両日に開催された大学祭で限定販売され、食育トークイベントなどを通じて、大阪市内産農産物と都市農業の大切さをPRしました。

## 【取り組みのポイント】

- Z世代向けの学生らしいオリジナルパンを共同開発。
- 共同開発した商品『具ぎっしり!大阪黒菜のリーフパン』を大学祭で限定販売。



## 【商品概要】

### 『具ぎっしり!大阪黒菜のリーフパン』(税込200円)

大阪黒菜の葉っぱをイメージしたオリジナルパン。小麦粉本来の甘みを感じられるふわふわ食感の生地、大阪黒菜と豚肉を白だしで炒めたものを包んでおり、味付けがシンプルだからこそ、大阪黒菜本来の味や食感を楽しめるのが特長。

## 【商品開発に携わった学生のコメント】

自分自身が考えたものを形にできることに喜びを感じながら開発しました。使用する大阪市内産農産物を決めるところから数十種類のパンの試作を経て、見た目や材料の分量など、多くのこだわりが詰まった『具ぎっしり!大阪黒菜のリーフパン』です。連携先をはじめ生産者の方々に、大阪市内産農産物や都市農業への想いをお聞きできたからこそ完成した商品です。イベントでは多くの方に大阪黒菜のパンを食べていただき、大阪市内産農産物を知っていただく良いきっかけになったと思います。



※大阪黒菜 2024年2月に大阪府・大阪市の「なにわの伝統野菜」に認証。冬が旬の葉物野菜。色は濃い緑色で、厳寒期になるほど光沢を増し黒光りする。肉質は柔らかく、特有の風味がある。

## ■ 教育学部

## 大阪府立山田高等学校と 「スポーツ医科学連携」を実施

教育学部 教育学科 中等教育専攻 保健体育教育コースと大阪府立山田高等学校との高大連携の取り組みである「スポーツ医科学連携」を、11月から3回に分けて実施しました。

このイベントは、昨今のスポーツにおける様々な問題を解決するには、スポーツに関する正しい情報や知識を学べる環境構築が必要となることから、高校生と大学生が共にスポーツ医科学を学ぶ機会を作ることで高校生の部活動のさらなる充実と



スポーツ障害予防、そして生涯の健康と自己の身体について考える時間にすることを目的に実施しました。

大阪成蹊大学からは、スポーツ医科学に関する講話、リズムトレーニングの紹介と実践、スポーツ外傷、障害予防に向けたトレーニングの紹介を行い、山田高等学校の生徒は楽しみながらトレーニングに参加しました。教育学部の在学学生も講師として参加し、学びの多い体験となりました。



## ■ びわこ成蹊スポーツ大学

## 株式会社モンベルと包括連携協定を締結! ～自然体験を軸とした新たな価値創造～

アウトドア用品のリーディングカンパニーである株式会社モンベルと包括連携協定を締結しました。この協定により、自然体験やアウトドア活動を活用した社会的価値の創出をめざします。協定締結式は、12月4日に株式会社モンベル本社にて執り行われ、間野義之学長と株式会社モンベルの辰野勇代表取締役会長兼CEOが出席しました。

## — 連携協定事項 —

- 【1】自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関する事
- 【2】子どもたちの生き抜いていく力の育成に関する事
- 【3】自然体験の促進による健康増進に関する事
- 【4】防災意識と災害対応力の向上に関する事
- 【5】地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関する事
- 【6】農林水産業の活性化に関する事
- 【7】高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に関する事



就職活動

大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学

ここから始める就職活動

就職活動は年々早期化が進んでおり、早くに準備・活動することが必須条件となっています。今後、皆さんが納得した企業・施設から内定を獲得し、長く活躍できるフィールドで働くことができるように、就職部/キャリア支援部では一人ひとりの希望に合わせたサポートを実施していきます。

就職活動をスタートするにあたり大切なポイントが2つあります。1つは、自己分析です。自己分析は自身にどのような強みがあり、どのような仕事にチャレンジをしていくのかを決めていく重要なポイントです。社会経験のない自分が、本当に何がしたいのかを見つけることはそう簡単ではありません。「得意なこと、苦手なこと」

「好きなこと、嫌いなこと」など、自分の基本的な考え(価値観)を見つめ直し、自信をもって何にチャレンジするかを決めるために必要です。

2つ目は、自己分析を踏まえた「業界」「業種」研究です。仕事や働き方が多様化している中で、自身が今後どのような企業で、どのようなキャリアを歩んでいきたいかを考える重要なポイントです。様々な業界を知り、自分が活躍したいフィールドを見つけるとともに、同じ企業でも様々な仕事があり、働き方も違います。その中で、本当に自分がしたい仕事を見つけるためには、可能な限り情報を集めるとともに、オープンカンパニーやインターンシップに加

え、OB・OG訪問などにより、実際の現場での仕事をしっかりと認識する必要があります。入社してから、「考えていた仕事ではなかった」とギャップを感じないように、しっかりと時間をかけて、第三者の意見も取り入れながら取り組むことが大切です。

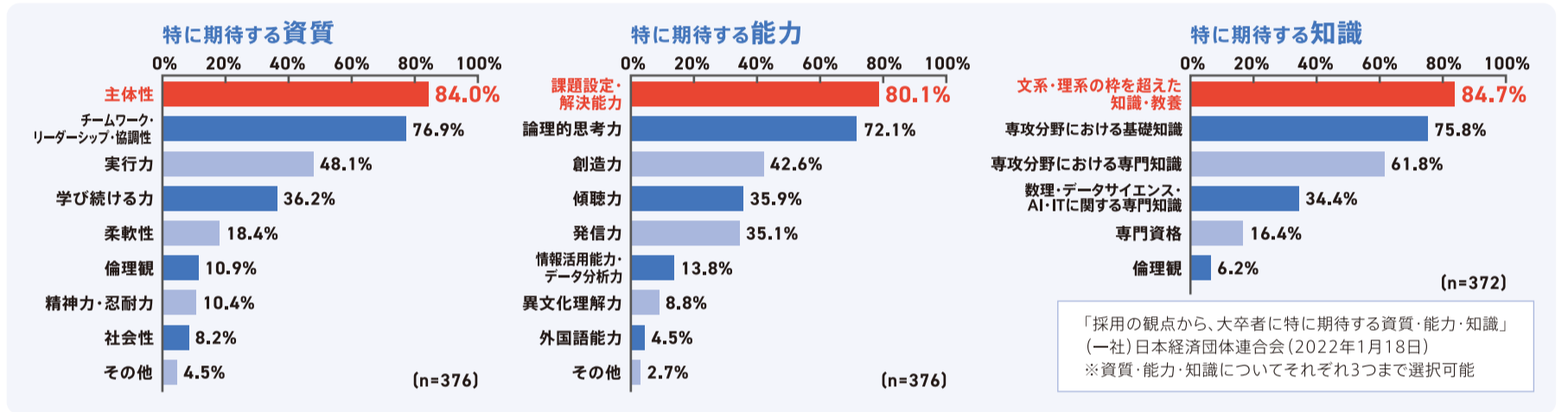
就職部/キャリア支援部では、皆さんと一緒に自己分析を進めるとともに、履歴書、ESの書き方に加え、面接練習など、一人ひとり個別で対応しています。皆さんそれぞれにとって、最善の結果が得られるよう、一緒に就職活動を進めていきましょう。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 就職部  
びわこ成蹊スポーツ大学 キャリア支援部

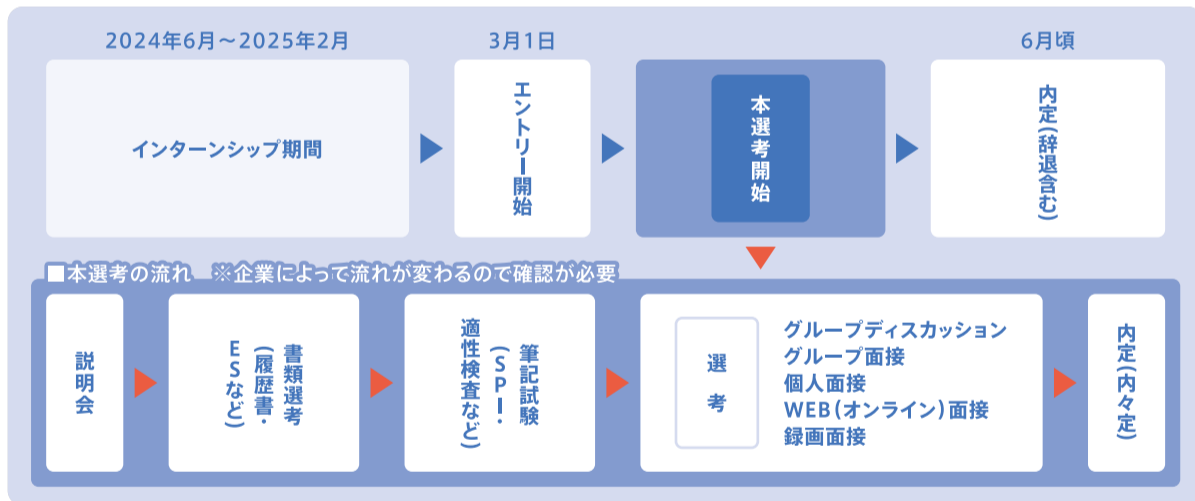


企業が求める人材とは

下の図は、企業に聞いた「大卒者に特に期待する資質・能力・知識」のグラフです。資質の分野では『主体性』が、能力の分野では『課題設定・解決能力』が、そして、知識では『文系・理系の枠を超えた知識・教養』がそれぞれ1位となっています。このことから、変化の激しい時代において、受け身ではない、主体的に取り組む姿勢が新入社員に求められていることが分かります。



3月以降のスケジュールと活動の進め方

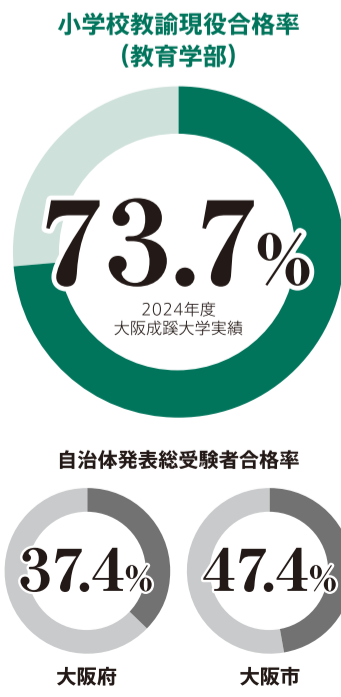


大阪成蹊大学

教員採用試験の高い現役合格率

教育学部と教職キャリアセンターでは、1年次から行う実践的な授業と現場実習、現役合格にこだわる教員採用試験対策・就職支援などのサポートを実施しています。

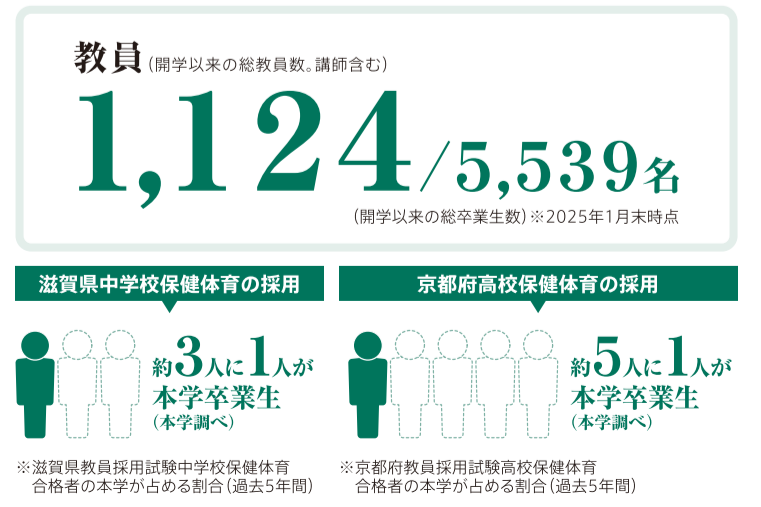
令和7年度教員採用試験 小学校教諭においては、高い現役合格率を達成し、芸術学部からも公立中学校美術教諭に4年連続で現役合格者を輩出しました。



びわこ成蹊スポーツ大学

多くの卒業生が教員として活躍中

充実した筆記試験対策講座や面接指導とあわせて、経験豊かな教職アドバイザーやOB・OGによる親身なサポートが特長です。在学中、さらには卒業後も手厚くサポートしています。





## 大阪成蹊大学

# 就職決定者の声

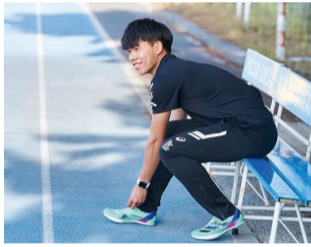
## “中学の恩師のような教員になりたい”

教育学部 教育学科 中等教育専攻 保健体育教育コース

谷口 哲也さん

就職先: 高校教員(保健体育)

私が高校の保健体育の教師になると思ったのは、ある経験からでした。中学校時代、陸上部で短距離(100メートル)を専攻していましたが、なかなか記録が伸びずに悩んでいました。そんな時、顧問の先生から400メートルに転向してみないかと、声を掛けてもらいました。400メートルは短距離特有の瞬発力とスピード、そして同時に持久力も求められ、ペース配分など戦略的な面も重要視される種目で、実際に400メートルに転向してみると、想像以上の結果が出せるようになり、陸上競技の魅力をどんどん発見できて、走ることがさらに好きになりました。自分の新たな側面に気づかせてくれたこと、そして結果に結びつけられたことが大きな自信となり、顧問の先生のように、子どもたちの進路に直接関わる教師の道をめざすことを決めました。



大阪成蹊大学を選んだのは、自分の選んだカリキュラム次第で取得できる免許・資格の幅を広げることができると感じたからです。教育学部の保健体育教育コースでは、一定の条件を満たせば、「中学校教諭一種免許状」や「高等学校教諭一種免許状」の他に、特別支援学校や小学校教諭、幼稚園教諭をはじめ、社会福祉の仕事に携われる「社会福祉主事」やスポーツ医学の分野で活かせる「スポーツ医学検定1級・2級」などを取得することも可能で、私は卒業時に「特別支援学校教諭一種免許状」も取得予定です。

教員採用試験へ向けては、一般教養や専門教養といった筆記試験を通過しないと面接試験には進めないで、3年生の10月頃から、まずは勉強をどのように進めていくかを考え、計画表を作りました。試験日を最終目標に設定し、その日までにどのような勉強を完了すべきかを逆算し、段階的に細かな目標を打ち立て、一つずつクリアしていく。その積み重ねで合格にたどり着くことができました。また、教職キャリアセンターの先生方やゼミの先生には、出願サポートや面接の練習などに



いて、親身に話を聞いていただきました。時には厳しい指導も交えながら一緒に解決策を考えてもらい、そんな寄り添った手厚いサポートがとても心強かったです。

私も恩師のように、子どもの可能性を見出し、広げてあげられる先生、そして『出会えてよかった』と思ってもらえるような先生になりたいと思っています。



幼い頃から、縫い物とファッションが好きだった私は、高校生になると洋裁部に所属し、初めて人物サイズの服を作りました。型紙から服を作っていきその工程や完成したときの感動が忘れられなくて、好きなものを自分の手で形にする、こんな仕事がしたいと思い、パタンナーになりたいと思うようになりました。また、叔母がウエディングドレスのパタンナーをしており、その影響もあったと思います。叔母の学生時代のデザイン画や作品を見て憧れを抱く中、その叔母が大阪成蹊短期大学の卒業

## “想いを形にするパタンナーへ”

芸術学部 造形芸術学科 ファッション・コスチュームデザインコース

石井 愛珠さん

就職先: アパレル企業

生ということもあり、大阪成蹊大学に興味を持ち入学を決意しました。

一般的にパタンナーをめざす人は専門学校への入学を選択することが多い中、私は何かの分野に絞って学ぶのではなく、幅広く学びたいと考えていました。実際、入学してみると、デザイン・パターンメイキング・縫製・テキスタイルデザインなど、さまざまな分野を学ぶことができ、将来の選択肢を幅広く持つことができましたし、総合大学ということもあり、さまざまな分野の学生が集まっているので、授業中の意見交換では、自分の中にはない考えが同級生から出てきて、とても刺激になりました。さらに、レベルの高いところで仕事をされている先生方と出会えたことは私自身の大きな成長につながったと思っています。

授業で印象的だったのが、特別課題として取り組んだ、吹田市のキャラクター「すいたん」のコスチュームデザイン制作、『近未来』をテーマにした3年生展、NPO法人DEAR MEと協働して行ったフィリピンでのファッションショーの3つです。これらの衣装制作に取り組む中で、一つひとつの服にはストーリーがあ

ることを学びました。コンセプト・デザインの意図や思い入れ、それらを理解することで、服づくりへの取り組み方、仕上がりも異なるものになると感じました。

パタンナーは、ファッションデザイナーとその服を購入する人をつなぐ役割を担っていると思っています。デザインに込められた想いを形にし、お客様にも良いと思っていただける商品をお届けしていきたいです。また、これから技術の進歩により、さまざまな生地も生まれてくると思います。生地一つで服のシルエットは変わってくる。自分の技術や知識を常に蓄えていき、それらの変化にも対応して、クオリティの高い服を届けていきたいです。



## “日本のおもてなしを世界に広めたい”

経営学部※ 国際観光ビジネス学科 観光ビジネスコース

宮崎 舞さん

就職先: 株式会社星野リゾート・マネジメント(ホテル事業)

※2022年4月より国際観光学部にて改組

私は観光業界に興味があったこと、英語を学ぶ環境が整っている点で本学を志望しました。実際に講義では、地域活性化やインバウンド、航空、プライダルなど、観光分野について幅広く学びました。専門的な知識を持つ先生からの指導や、フィールドワークなどの実践的な学びにより、より深く学び、興味を持って取り組むことができました。その中でも特に、地域活性化とホテルに興味深く、就職後もそれらに関わる仕事がしたいと思いました。

また、英語では自分のレベルに合った授業や2度の留学経験、TOEIC対策の授業など、実践的かつ自分のペースで学べる環境をはじめ、英語暗唱大会や授業内でのプレゼンテーションなどを通じて、英語を使うことへの抵抗感がなくなり、自分の気持ちをきちんと伝えられる英語力やプレゼンテーション能力を身につけることができました。英語のスキルを活かし、海外からのお客様に対しても、しっかりとしたおもてなしができるという自信にもつながりました。

就職活動では、就職に対して漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、就職部の方とお話ししていくうちに、今やらなければならないことや働き方の理想像などが明確になりました。11月ごろから観光業界を中心に説明会や1DAYインターンシップに参加しました。その中から約8社ほど選考に進みました。そして、選考では高校生まで10年以上続けたチアダンスで培った継続力や忍耐力と留学で培った語学力をはじめ、積極性や挑戦心を主にアピールしました。インターンシップでは、スタッフの方からの体験談も直接聞くことができ、自分のホテルで働く姿をイメージできるきっかけになりました。

私が就職を予定している会社は、観光客が少ない土地にホテルを作り、地域活性化に貢献しています。まだ多くの人に知られていない土地の良さを、宿泊することをきっかけに知ってもらえることがたいへん素敵だと思います。また、その土地だからこそできる体験や、スタッフがお客様のニーズを察して提

供するサービスを通じて、日本のおもてなしを世界に広めることができれば良いと考えています。マルチタスクで働ける環境があるため多くの業務を通し、お客様の立場となってニーズを理解することや、顧客満足度の向上へとつなげられればと思っています。



## 大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学

## 社会で活躍する 卒業生インタビュー

様々な業界で活躍する本学の卒業生の方々に、お仕事や学生時代の学び、後輩へのメッセージについて伺いました。



大阪成蹊大学 芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース  
(現:グラフィックデザインコース) 2022年3月卒業  
北野 真由さん(江崎グリコ株式会社 デザイン部)

## 努力を積み重ねれば、 自分の可能性も広がっていく

大学を卒業後、デジタル中心の広告代理店に就職し、昨年から江崎グリコ株式会社に勤務。現在、商品パッケージから、店舗のVMD(ビジュアルマーチャндаイジング)、WEBデザインなど幅広い業務に取り組んでいる。

### 一現在の仕事内容について教えてください。

現在、デザイン部に配属されています。私自身デザイナーでもあります。手を動かして自分で一からデザインをするというより、デザインのディレクションがメインの業務です。担当する商品のパッケージ、店舗のVMD(店舗のコンセプトやテーマを視覚的に表現することで、顧客の購買意欲を高めるマーケティング手法)やブランドのWEBサイトなどを外部の制作会社に依頼してデザインしていただき、それに対してフィードバック・監修する仕事をしています。業務では社内のマーケティング部署と連携して動くことが多いです。

今はグリコの中でも店舗を構える「パトンドール」というお店や、グリコ初の生キャラメル専門店の「キャラメルキッチン」(新千歳空港内)、幅広い企業で導入いただいている「オフィスグリコ」などを担当しています。お店の立ち上げ期ですと、壁の材質や色は何が適しているかを検討することもデザイン部の仕事になっています。

また、「ブランドを守る」というのもデザイン部の仕事です。コンセプトや世界観が違う方向に行かないように調整、監修するのも大切な業務の1つです。

### 一この仕事を志した理由とやりがいについて教えてください。

小さい頃から絵を描くのが好きだったことや、美術とデザインの違いなどを高校・大学時代に学び、デザインは、何かを解決するためにあるという点にやりがいを感じました。

グリコに入社したのは、紙媒体に加え、デジタル領域(ホームページ、SNS、アプリなど)も力を入れており、媒体・手法問わない領域の広さや自由さに魅力を感じたことが理由です。

実際に、このデザインはどういう意図でこの色を使っているかなどを言語化して、資料を作り社内のマーケティング部門や社外の制作会社に伝え、それが実際に店舗に並んでいるところを見ると非常に達成感を感じます。最近では、自分が携わったパトンドールの限定品がお店に並んでいるところや、東京駅のアーモンド専門店で使用されるポスターなどが、実際に展開されているのを見て嬉しく思いました。

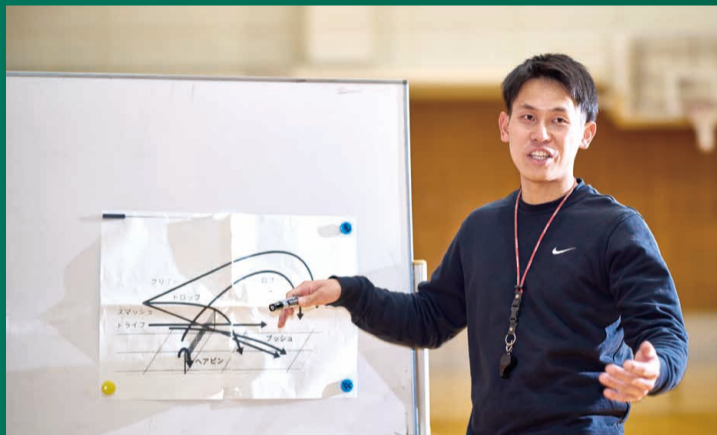
### 一大阪成蹊大学を選んだ理由は?

美術の教員にも憧れていたため、教員養成にも力を入れている大学という評判を聞いていたことと、さまざまな企業と連携した授業があるという点に魅力を感じました。先生からだけ

ではなく、企業の方から実際に働く上での視点で、自身のデザインを評価してもらえる授業を展開されているという点も入学のポイントでした。実際、企業の方にプレゼンをする機会があり、そこで自分の考えや想いを伝えることの難しさ、伝わらない時のもどかしさを実感しました。しかし、貪欲に努力を積み重ねれば、先生方からいろいろな指導やアドバイスを頂くこともでき、自分が次のステップに踏み出せる環境でした。

### 一本学に入学を考えている皆さんにメッセージをお願いします。

進路選択で不安になることもあると思いますが、自分の努力や考え次第で何とかなりますので安心してほしいです。特に大阪成蹊大学は、先生方が努力をしているのを見つけてくれたり、努力をするように仕向けたりしてくれる大学だと思います。甘えるところは甘えて、貪欲に努力すれば可能性が広がりますよ。



びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 スポーツ学科  
学校スポーツ教育コース 2023年3月卒業  
上田 貴大さん(京都府立園部高等学校 教諭)

## スポーツの楽しさ、 おもしろさを伝えていきたい

父や高校時代の恩師に憧れ、部活動の指導者になりたいという思いから教師の道へ。生まれ育った京都府で、自分の経験で得た知識や学びを還元したいと現在は府立高校の教員として、担当授業のほか、担任業務や野球部顧問を担当。

### 一現在の仕事内容とやりがいについて教えてください。

現在は保健体育科教員として、1年生(23人学級)の担任や1年生の保健、1~3年生の体育を担当するほか、硬式野球部の顧問をしています。

授業では、運動に苦手意識がある生徒でも、「楽しい」「やってよかった」と思ってもらえることを常に心がけています。先日実技の授業の感想に、「今まで面白かったことはなかったけど、今回は楽しむことができたし、またやってみたいと思った」と回答してくれて、運動が得意な生徒だけでなく、全員が楽しめる授業を作れたと感じられたことはとても嬉しかったです。また、部活動の指導においても、チームが作れるかどうかの少人数なのですが、生徒が一生懸命に取り組む姿を見たときや、成果を上げてくれたときには自分のこと以上に喜びを感じます。

### 一びわこ成蹊スポーツ大学を選んだ理由は?

硬式野球部の人数が多く、今まで経験したことのない集団の中で自分の力をどれだけ伸ばせるのか、通用するのかを試したいと思ったのがきっかけです。また、専用グラウンドやトレーニング施設が充実しており、スポーツにおける各分野の

専門知識を様々な先生方から学べることも大きなポイントでした。保健体育科の教員免許が取得でき、自分の将来の展望を考えたときに、「体育」ではなく「スポーツ」という、これまでとは違ったニュアンスにも惹かれました。

実際に入学して、スポーツを中心に様々な学びを得ることができる素敵な大学だと思いました。ただ、その学びや知識、体験を得るためには、自分にとって必要なことを考え、行動する力が大切だと思います。在学中も「考動」の姿勢を少なからず持っていたことが、多くの学びにつながったと思います。

### 一大学での学びは、どのように今の仕事に活かされていますか?

講義や模擬授業だけでなく、学んだことを実践し、反省、改善するという形が現場での指導にとっても活かしているように感じます。安全管理の視点や指導の工夫など、先生方や先輩な



ど、様々な方から指摘をいただき、本来は就業してから学ぶことを、先駆けて学べたように思います。

また、本気で教職を目指す集団(特に教職コアチーム)の中で試験に向けて取り組めたことは、逃げ出さなくなる場面でも踏ん張ることのできた大きな要因です。高め合うことのできる集団に身を置くことの重要性を感じることができました。

大学時代での一番の経験は部活動です。公式戦出場を目標にしていたのですが、公式戦はおろか、新人戦等でユニフォームを着た機会もゼロで、何度も逃げ出さなくなりました。そこで逃げずにやりきったことで大きく成長できたと思います。また、選手だけでなく学生コーチも経験し、指導者側の目線や指導時に気をつけるポイントなど、本当に多くの学びを得ました。

### 一本学に入学を考えている皆さんにメッセージをお願いします。

名前の通り、スポーツという分野において、非常に特化した学校です。「スポーツを楽しむ、スポーツっておもしろい!」という根本を学ぶことができたのは、様々な視点からスポーツに関わることができたからこそです。ぜひ、びわこ成蹊スポーツ大学でスポーツについての知識を深め、スポーツの楽しさやおもしろさを知ってください!

## 大阪成蹊学園



## ファミリー入試制度のご案内

ご家族(受験者から三親等以内)のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置校(大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校)の卒業生または在学生である方が対象になります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費減免制度などの特典があります。

※2026年度入試は募集要項をご確認ください。お問い合わせは右記まで。

お問  
合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 広報統括本部  
Tel:06-6829-2554 (平日9:00-17:00)  
びわこ成蹊スポーツ大学 入試部入試課  
Tel:077-596-8425 (平日9:00-17:00)

クラブ活動 NEWS

大阪成蹊大学

フットサル部が  
第20回全日本フットサル大会で優勝、  
大会3連覇(9月)



LUXPERIOR CUP 地域大学フットサルチャンピオンズリーグ2024でも優勝し、2冠を達成

バントワーリング部が  
10年連続の金賞受賞(12月)  
全国大会の学校部門(大学の部)で第2位



学校部門/大学の部 第2位(10年連続出場、金賞受賞)  
出場メンバー/松井瑠菜さん、舞菌愛子さん、木下将希さん、石原優さん、榎本夢乃さん、畑山ありあさん、東野桂子さん、松野かえでさん

びわこ成蹊スポーツ大学



陸上競技部の楠見涼介さんが  
「大津市スポーツ賞」を受賞(11月)  
日本新記録樹立

第35回日本パラ陸上競技選手権大会(WPA公認)  
T37 男子 400m競走:1位(日本新記録)  
T37 男子 800m競走:1位

大阪成蹊女子高等学校



チアダンス部が  
第十六回全国高等学校  
ダンスドリル冬季大会で優勝(1月)

1位 創部5年で初優勝  
出場メンバー/上田優月さん、松木茅乃さん、白井心暖さん、小西池琉菜さん、佐々木麻琴さん、小谷ゆかりさん、鳴戸心晴さん、伊賀光希さん、小島心咲さん、白石千星さん、藤田彩花さん、川口芽生さん、田代愛里奈さん、小田依莉さん

ART NEWS

大阪成蹊大学

芸術学部学生の作品3点が  
「日本パッケージデザイン学生賞 2024」で  
銅賞・企業賞・審査員特別賞を受賞!



銅賞  
【作品名】「楽」を「楽」しく変えるパッケージ  
【受賞者】ティファニー・ルブルン・スダルゴさん  
(グラフィックデザインコース2年生)



企業賞 大商硝子賞  
【作品名】今日は何の粉?(きょうは何のこ?)  
【受賞者】河合 香実さん  
(グラフィックデザインコース2年生)



審査員特別賞 吉田馨賞  
【作品名】妊婦さんのための甘酒  
【受賞者】小坂 桜華さん  
(グラフィックデザインコース2年生)

芸術学部の糸曾賢志教授が監督を務める  
TVアニメ「想星のアクエリオン Myth of Emotions」の  
制作に学生・卒業生11名が参加

- 過去編3Dディレクター:内田英武(教員)
  - 絵コンテ、演出、アニメーター:佐藤澤(AC卒業生、本年度から非常勤講師として勤務)
  - 総作画監督:赤松香穂(AC卒業生)
  - 3DCGデザイナー:鬼丸木実(AC卒業生)/笠原友香里(AC卒業生)
  - 学生の取りまとめ、アドバイザー:伊藤俊輔(教員)
  - 発進シークエンス原案:丹羽学(教員)
  - プロップデザイン、背景素材作成:大西滯美(GA卒業生)/山城沙絢(GA3年生)/中崎美羽(GA3年生)
  - 背景素材作成:伊藤大翔(GA4年生)/炭井逸暉(VV3年生)/阪田瑞姫(AC1年生)/杉本華奈子(AC1年生)
- (AC)アニメーション・キャラクターデザインコース  
(GA)ゲーム・アプリケーションコース  
(VV)バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース  
※ゲーム・アプリケーションコースは2025年度よりゲーム・CGデザインコースへ変更



高田恭加さんの作品が、  
ふるさと納税返礼品へ  
【作品名】ファースト本棚  
【コンセプト】赤ちゃん和絵本の出会いをサポート  
【所属】インテリア・プロダクトデザインコース3年生  
連携先企業「木と革aoyama」から、愛知県ふるさと納税返礼品として販売予定



炭井逸暉さんの作品が  
第7回フェローズフィルムフェスティバルで  
審査員特別賞を受賞  
【作品名】テレポートキャンディ  
【作品概要】超能力、超常現象が好きな主人公の物語  
【所属】バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース3年生



村井翔吾さんの作品が  
第7回 全国合板1枚・作品コンペで  
グランプリ(林野庁長官賞)を受賞  
【作品名】trekantet stol  
【コンセプト】しなりを活かした柔らかな掛け心地  
【所属】インテリア・プロダクトデザインコース2年生



後藤美桜さんの作品が  
大阪・関西万博キービジュアル公募に  
おいて、優秀賞を受賞  
【作品名】「大阪ウィーク〜春・夏・秋〜」  
【コンセプト】イベントなどの全体像をわかりやすく伝える  
【所属】ビジュアルデザインコース3年生※  
※2023年4月よりグラフィックデザインコースに変更

大阪成蹊短期大学附属 こみち幼稚園

—大阪成蹊短期大学附属—  
こみち幼稚園だより

年中 お味噌づくり

毎年恒例の「お味噌づくり」。6年前から食育の一環として、年中子どもたちが、保護者の方と一緒に、塚の糶づくり、手作り味噌をされている「雨風」さんに教えていただきながら体験しています。  
材料は、大豆(事前に煮大豆にしています。)、塩・糶の3つ。最初は、大豆をつぶす作業と塩と糶を混ぜる作業を分担して行い

ます。そのあとは、塩と糶が混ざったものに、つぶした大豆を混ぜてお団子にしていきます。子どもたちは、「おいしくなあれ おいしくなあれ」と声をかけながら、とても楽しそうです。まぜまぜ、こねこね、にぎにぎは得意分野。「ほら、先生、見てえ」と得意げにできたお団子を見せてくれました。お団子にした後は、自分のクラスの桶に、下から順に並べて、最後は、上からぎ

ゅつ、ぎゅつと押していきます。げんこつで力を込めて押していました。ここまで、約1時間の活動です。あとは、5月まで、寝かせます。  
子どもたちが、年長になった時に、おいしいお味噌が出来上がっているはず。お味噌が出来たら、給食のお味噌汁に使います。また一人ひとり、家庭にも持ち帰ってもらっています。毎年、「おいしい～」と大好評です。自分た



ちで作った手作りのお味噌でできたお味噌汁の味は、格別なんだと思います。出来上がりが楽しみです!  
こみち幼稚園 園長 水上明美

# 大阪成蹊学園主催イベント

## 第14回大阪成蹊 全国アート&デザインコンペティション 審査結果発表

～審査を終えて～ 大阪成蹊大学 学長 中村 佳正

今年度で第14回となる「大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション」の審査が行われ、各賞が決定いたしました。中学生の部700点、高校生の部1,040点の合計1,740点と大変多くのご応募をいただきありがとうございました。テーマ「ワタシノセカイ」にふさわしい、自身を自由に表現する力作、秀作が揃い、本コンペティションを大いに盛り上げていただきました。ご指導いただきました中学校、高等学校の先生をはじめ、多くの方々のご尽力に厚く御礼を申し上げます。

### テーマ ワタシノセカイ

#### 高校生の部

##### 大阪府知事賞



『夢の途中』  
河野 早希 (大阪府立港南造形高等学校 3年)

##### 文部科学大臣賞



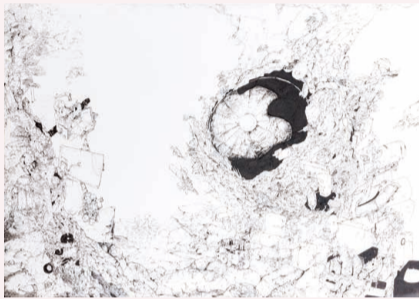
『虹の橋を渡る』 矢部 遥子 (大阪府立港南造形高等学校 3年)

##### 毎日新聞社賞



『自画像』  
齋藤 美波  
(宮城県仙台二華高等学校 2年)

##### 大阪市長賞



『木槓』  
小倉 夢真  
(埼玉県立越生高等学校 2年)

##### 大阪成蹊大学学長賞(金賞)



『開花への羨望』  
現田 彩乃  
(富山第一高等学校 2年)



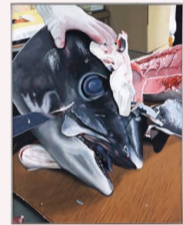
『Can You Hear Me?』  
田尾 愛珠香  
(和歌山県立粉河高等学校 3年)



『ドクリツフキ』  
田中心暖  
(大阪府立工芸高等学校 2年)



『おばあちゃんが作ってくれた』  
築山 彩花  
(東京学館浦安高等学校 1年)



『浦安にて』  
山崎 花禾  
(東京学館浦安高等学校 3年)



『こい』  
吉村 海美  
(大阪府立港南造形高等学校 3年)

#### 中学生の部

##### 大阪府知事賞

『水族町のふうせん通り』  
藤原 百実  
(豊中市立第十六中学校 3年)



##### 文部科学大臣賞



『color 2』  
川畑 菜桜  
(鹿児島市立皇徳寺中学校 3年)

##### 毎日新聞社賞



『サプライズ3秒前』  
中谷 望央  
(大阪府立咲くやこの花中学校 2年)

##### 大阪市長賞



『我ら宇宙海賊団』 徳山 弥桜 (東大阪市立盾津中学校 2年)

##### 大阪成蹊大学学長賞(金賞)



『命の森』  
小椋 広也  
(寝屋川市立友呂岐中学校 2年)



『日暮れの一室』  
花元 さくら  
(東大阪市立盾津中学校 3年)

### 大阪成蹊短期大学

## 2024年度 全国高校生ファッションデザイン画コンテスト

テーマ weave

#### グランプリ

富山第一高等学校 2年 大河愛子さん



#### 準グランプリ

青森県立弘前実業高等学校 2年 清藤琴音さん



2024年度「全国高校生ファッションデザイン画コンテスト」の審査が行われ、合計670点の応募作品の中から、38点の受賞作品が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、優秀賞については、2月8日の生活デザイン学科卒業制作コレクションにて授賞式を行いました。

●本誌に掲載の情報(個人の学年、所属、肩書き等を含む)は全て取材時のもので、発行時とは異なる場合があります。